



HealthHub Platform

患者⇔医療機関⇔読影医をつなぐプラットフォーム

2025年 7月

CONTENTS



Chapter 1. About HealthHub

Chapter 2. Health Information Exchange

Chapter 3. Pilot Project ; Smart Eye

Chapter. 1

About HealthHub

“HealthHubは、グローバルな医療分野におけるデジタルイノベーションをリードし、
医療従事者と患者の双方に、より良いヘルスケア体験を提供します。”

社名
株式会社HealthHub



認証取得

32 技術特許 19 技術出願 13 認証書 3 国際特許 PCT



Global Quantum Jump!

Strong!
Speed!
Smart!

設立日

2012年 2月 17
日

主要事業分野

医療機器
ソフトウェア
開発および供給

従業員数
(2025年 6月 基準)

64名
(R&D 36名)

資本金

75億ウォン

事業場



本社 & 研究所
(ソウル マポ区)



インドネシア法人
(Jakarta)



アメリカ法人
(New Jersey)



オーストラリア法人
(Sydney)

10年以上蓄積されたデータや信頼、成果

2025.06.



韓国内遠隔読影の
マーケットシェア

クライアント
病院数

年間読影件数

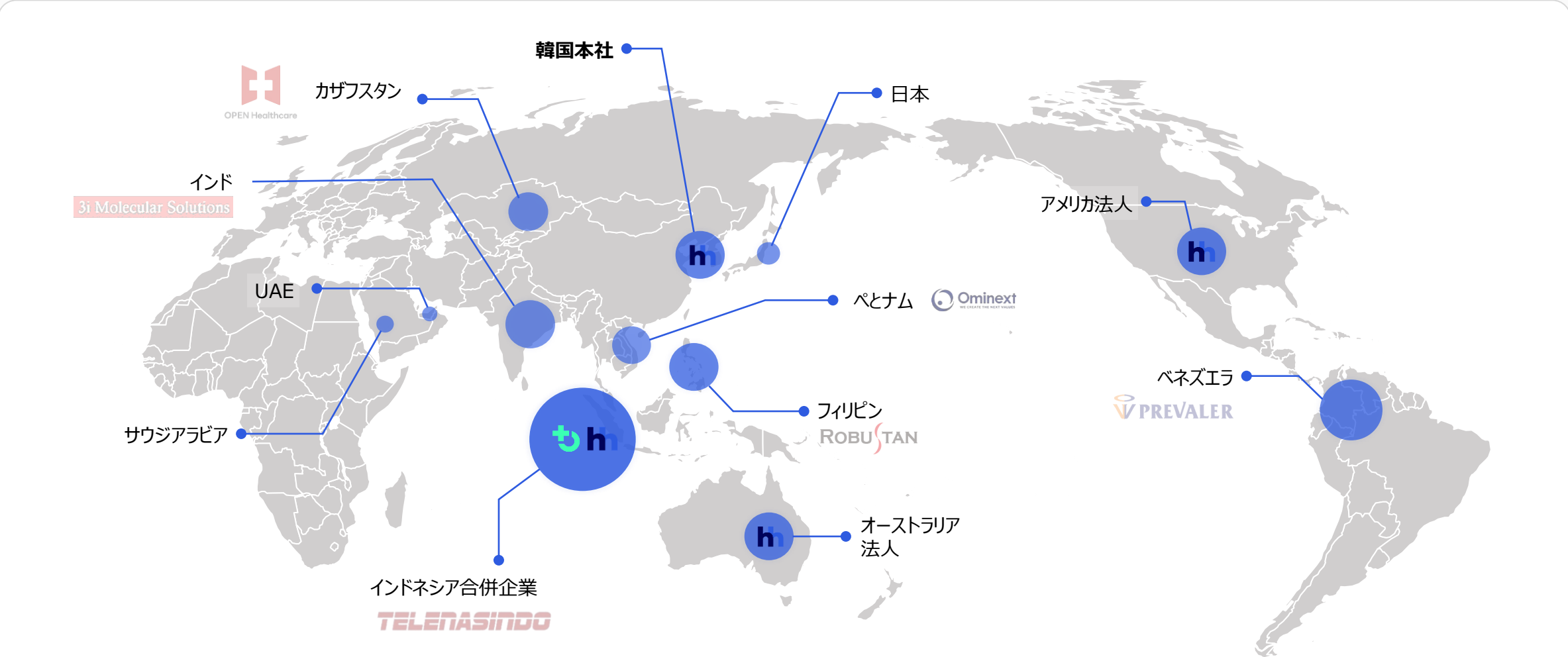
累積読影件数

プラットフォーム内の
読影医数

主要協力機関



国々の医療環境に合わせた柔軟性・拡張性を持つSaaS仕組み



Chapter. 2

医療情報交換

HealthHubのHIE

h HealthHub h HPACS

Web-based On-Premises PACS

セキュリティ対策と
安全性に配慮した
院内向け医療画像ビューアー



h HPACS

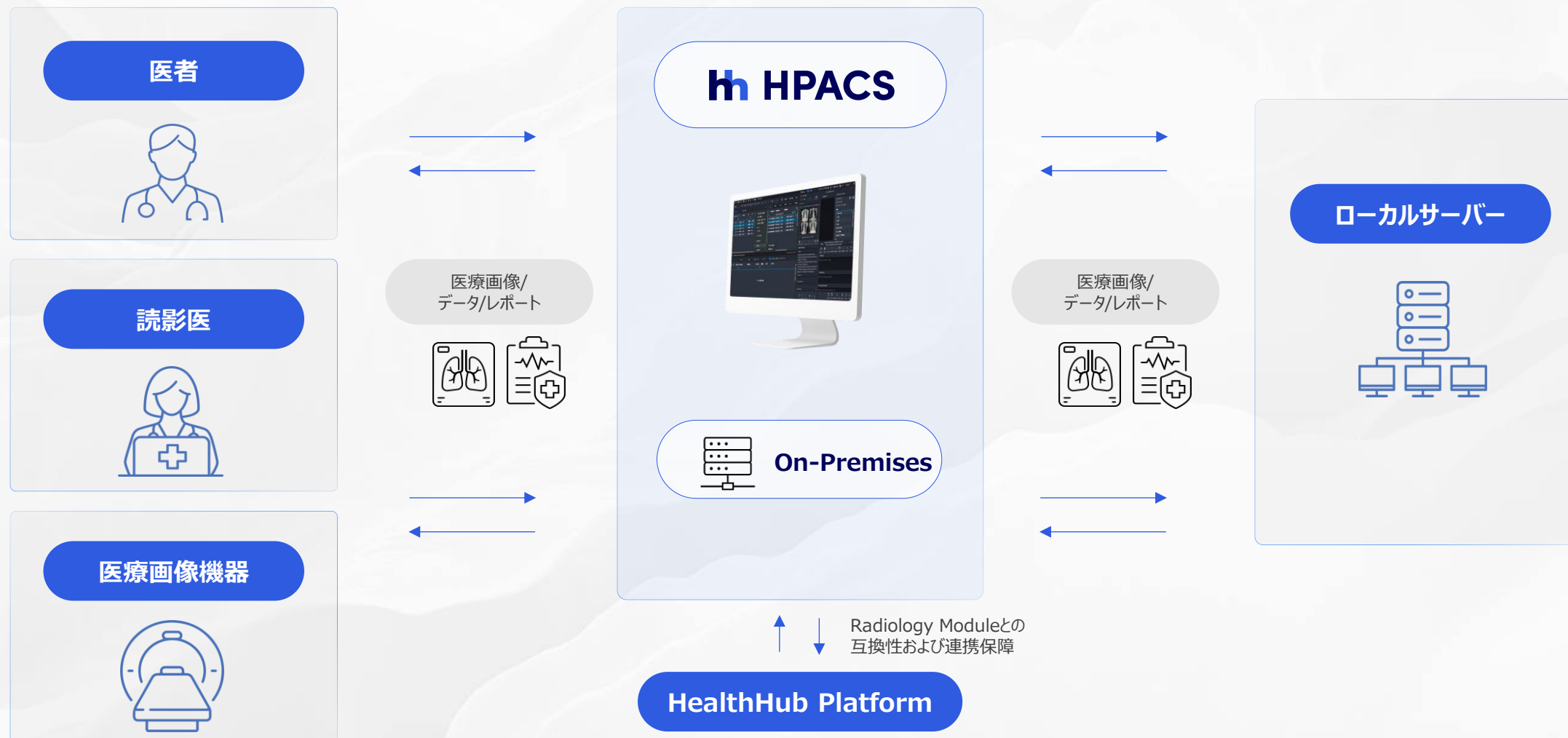
Web-based On-Premises PACS

院内の医療画像データを 完璧に制御するソリューション

病院インフラ内で医療画像データを完全に制御・管理できるよう設計された「HPACS On-Premises」は、高度な統合機能によってデータセキュリティを最大化し、厳格な地域規制の順守および既存システムとの完全な統合を保証する、機関主導型ソリューションです。



機関独自のサーバー／インフラ環境で医用画像データを厳格に運用



h HealthHub h HPACS

Cloud-based SaaS PACS

Global Cloud-based SaaS
医療画像ビューアー



h HealthHub

h HTeleRad

遠隔読影に最適化した
モジュール型All-In-Oneソリューション



h HTeleRad

検査依頼から読影、精算まで ワンストップ統合管理できる専門プラットフォーム

HTeleRadは、検査依頼から読影、精算までワンストップで統合管理を提供する専門ソリューションです。

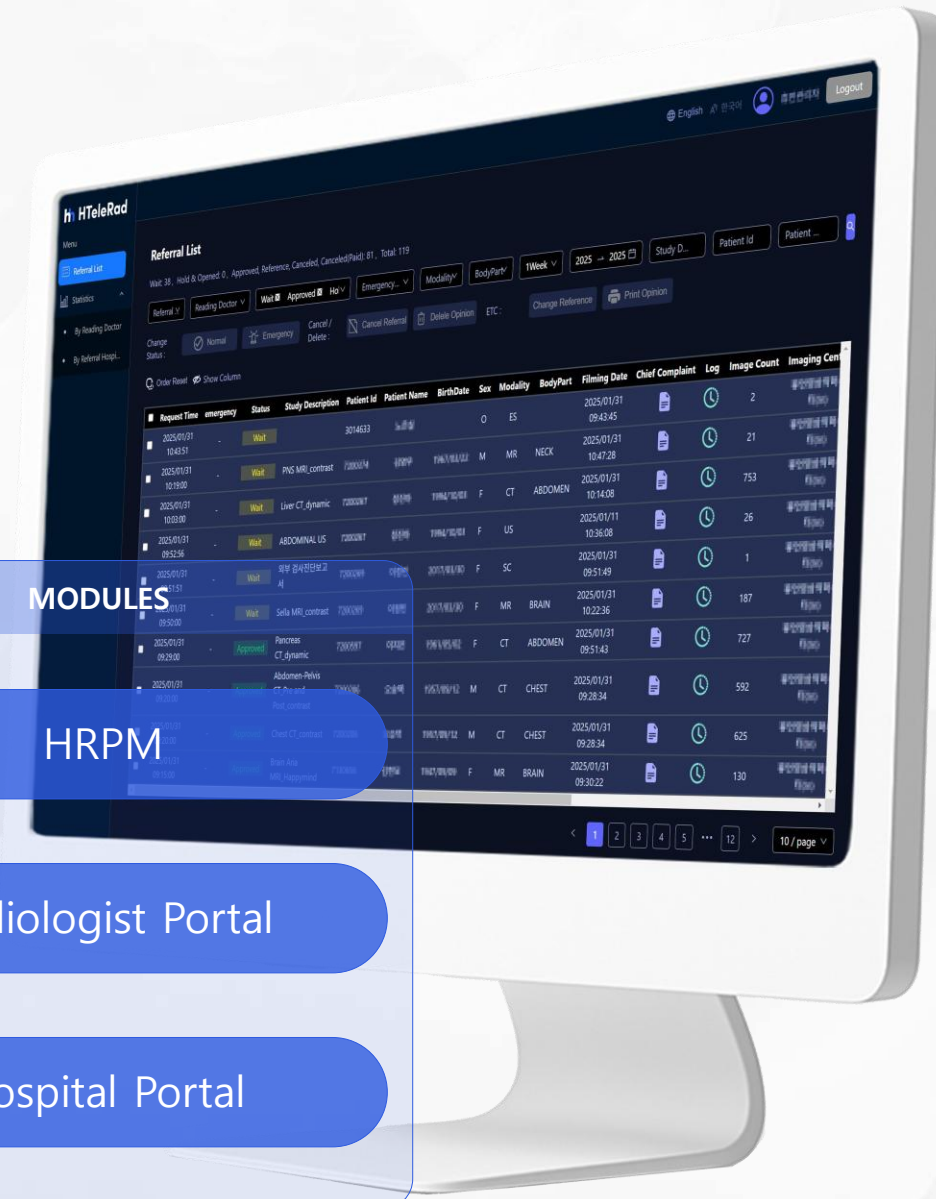
10年以上の経験と、グローバルで1,300以上の医療機関への導入実績により、その性能と安定性が証明されています。読影医および読影医の業務最適化と読影品質の向上に貢献します。

MODULES

HRPM

Radiologist Portal

Hospital Portal



As-is

1. 医療データの交換が**手作業**で行われる
2. 読影の割り当てが**手作業**で行われる
3. 清算・タスク管理が**手作業**で行われる

コーディネーターへの依存度が高い



To-be

1. 医療データの交換が**自動的**に行われる
2. 読影の割り当ての**6割以上は自動化**で
専門分野・日程に合わせ行われる
3. 清算・タスクのステータスが**一目**でわかる

遠隔読影の全サイクルを最適化

物理的・時間的・経済的な負担の軽減

デジタルトランスフォーメーション

医療機関・読影医・遠隔読影センターの間のリアルタイム協業



遠隔読影に特化した直感的なユーザーインターフェース

- 統合ダッシュボード
- スマートフィルターおよびサーチ機能
- リアルタイムステータスモニタリング
- 読影ケースの詳細情報の確認
- 応急読影
- タスクショートカット機能
- 多国語のオプション提供



高度化された技術ベースの遠隔読影に特化したソリューション

リアルタイム
協業



リアルタイムモニタリングレ
ポートのアップデート

優れたアクセス性



時間・場所に関係なく
アクセス可能

All-In-One
ソリューション



モジュール型の
単一プラットフォーム

Smart
Assignment



専門分野ベース
スマート割り当て

コーディネーターの
業務の最小化



ワークフローの
全サイクルの自動化

一目でわかる
ダッシュボード



ダッシュボードにて
主要指標を確認

h HealthHub

h HScan

オンラインで患者の医療画像
発行ソリューション

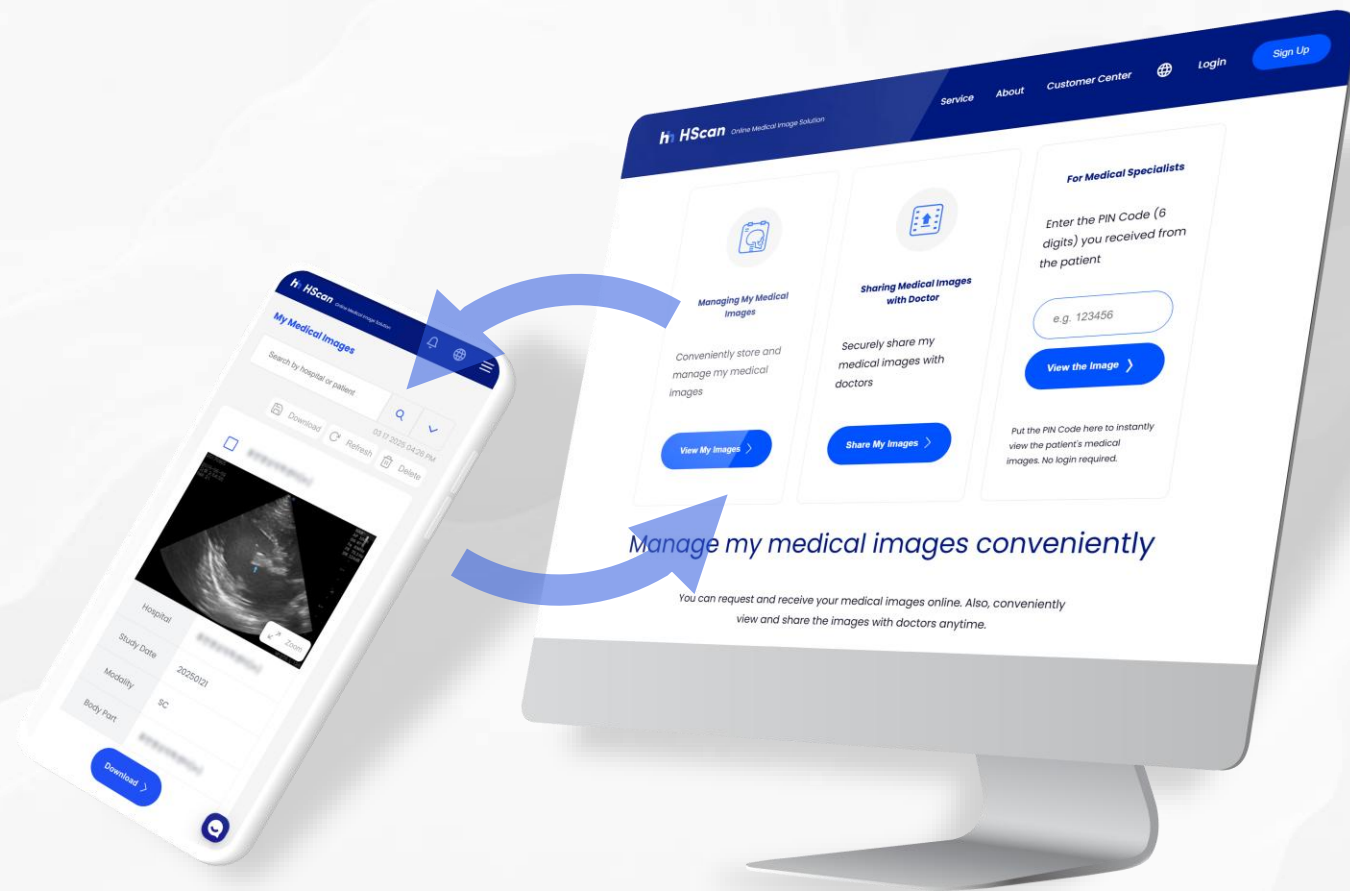


h HScan

オンラインで簡単に 患者中心の医療画像データ 発行・管理プラットフォーム

HScanを使えば、どなたでも医用画像をオンラインで簡単にリクエストし、閲覧できます。

患者と医療従事者の間でやり取りされる医療画像や健康情報は、HScanを通じて安全に保存され、効率よく共有・管理されます。



患者・医療機関をつなぐ医療画像共有ソリューション



病院・患者全員が不便なCD/DVD発行システム

不安定なセキュリティ対策・政策のリスク

- 個人情報の漏れの可能性
- データ紛失または破壊のおそれ
- CD/DVDの在庫管理・保管費用、管理費用
- ESG 経営に反する大量の廃プラスチック類の発生

協業・診療連携の制約

- 他病院のデータ発行手続きによる遠隔読影の遅延
- 医療機関同士の情報連携の限界
- 再診および次回の診療時の資料不足

複雑尚且つ非効率的な画像交換

- 検査後CDの受け取りまでの待機時間
- ソフトの間の互換性不足およびCDコピーの失敗のおそれ
- 画像 Matching および確認作業の繰り返し
- 画像発行の直後マニュアルで登録および処理必要

医療現場の業務負担

- 医務室および人力の業務負担
- 手作業の手続きに伴う負担増加
- 画像登録の遅延による診療の影響
- 待機時間の増加による患者の不満

たとえば・・・



※PHR連携の例です

- 国民の健康データの安全かつ効率的な管理
- 医療機関間の情報連携および診療の継続性強化
- デジタルヘルスケアの標準化と発行の手続きの効率化

h HScanは、国の方針や現場ニーズにしっかり対応したソリューションです

A conceptual image showing a human hand cupping the Earth from below. The Earth is shown with realistic clouds and landmasses. The background is a deep blue space filled with numerous white stars. The text is overlaid in the center of the image.

プラスチック(CD/DVD) 使用の削減
SDGs（持続可能な開発目標）への貢献
環境にやさしいデジタルヘルスケアの基盤整備

Chapter.3

Pilot Project : Smart Eye

Smart Eyeの概要



様々な
フォーマットのデータ



Smart Eye
OCR&コンバート



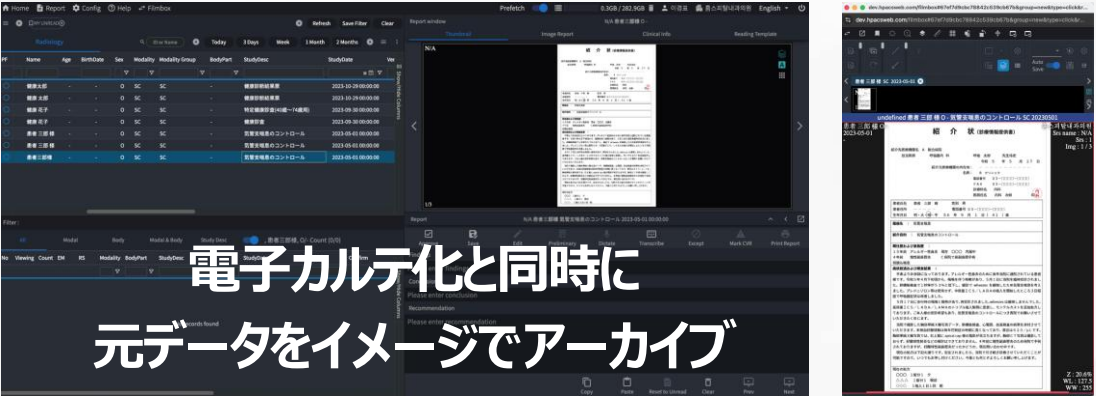
h HPACS

h HAIHub
h HTeleRad

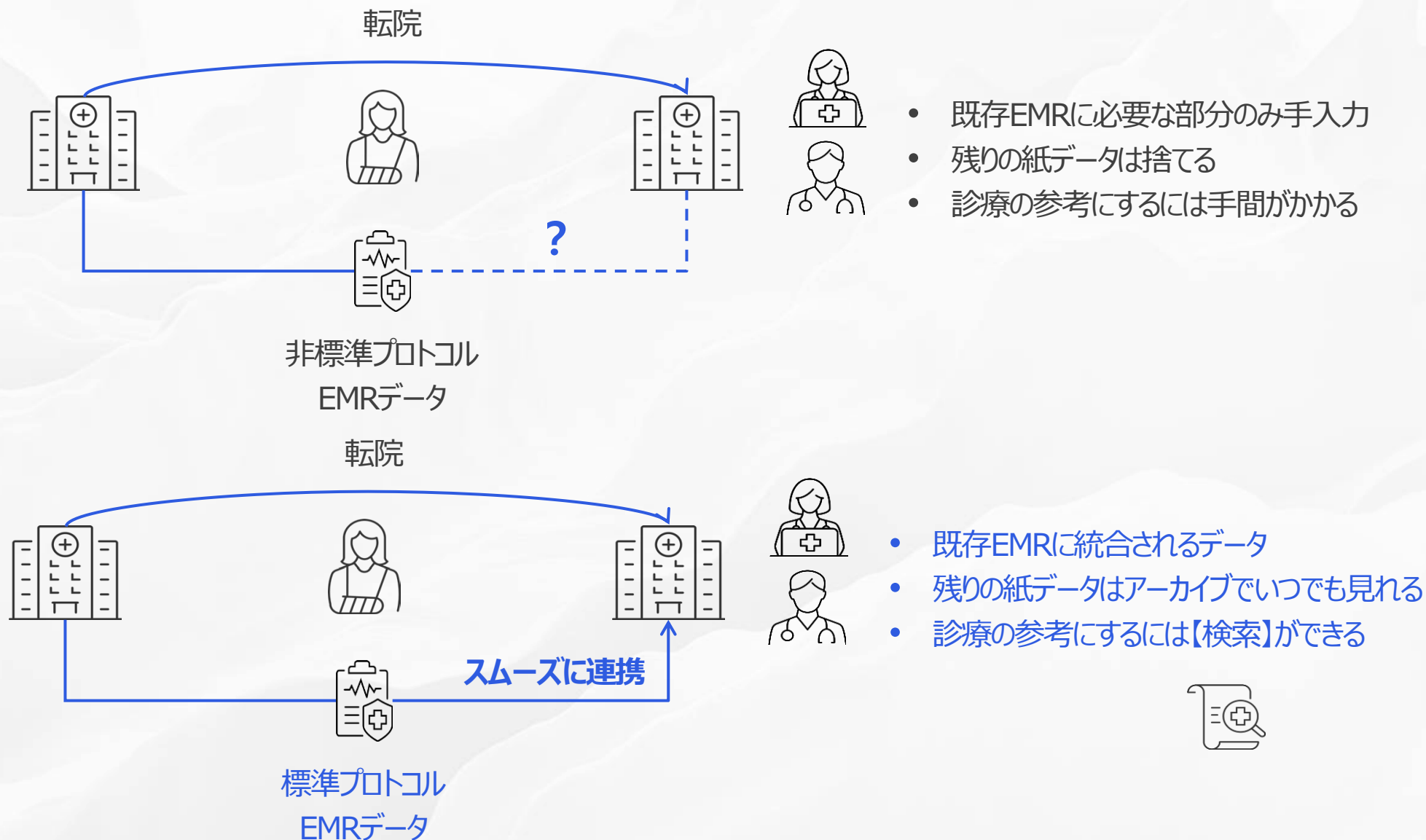
h HScan
患者が自分で管理



電子カルテ化と同時に
元データをイメージでアーカイブ



Use Case



紹介状 (診療情報提供書)	
紹介先医療機関名 A 総合病院	呼吸器内 科
担当医師	呼吸 太郎 先生侍史
令和 5 年 5 月 27 日	
紹介元医療機関の所在地: _____	
名称:	B クリニック
電話番号	03-0000-0000
FAX	03-0000-0000
診療科名	内科
医師氏名	内科 次郎
患者氏名	患者 三郎 様
患者住所	_____
生年月日	明・大・明・平 56 年 9 月 1 日 (41) 歳
傷病名	気管支喘息
紹介目的	気管支喘息のコントロール
既往歴および家族歴	10年前 アレルギー性鼻炎 現在 ○○○ 内服中 4年前 慢性副鼻腔炎 C 病院で鼻副鼻腔手術 母親も喘息
病状経過および検査結果	平素よりお世話になっております。アレルギー性鼻炎のために長年当院に通院されている患者様です。令和5年4月下旬頃から、喘鳴を伴う咳嗽があり、5月1日に当院を臨時受診されました。肺機能検査で1秒率が53%と低下し、聴診で wheezes を聴取したため気管支喘息を考えました。ブデニゾン等は使用せず、中用量ICS/LABAの吸入を開始したところ3日程度で呼吸器症状は改善しました。 5月17日に歩行時の喘鳴と微熱があり、再受診されました。wheezes は聴取しませんでした。高用量ICS/LABA/LAMAのトリプル吸入製剤に変更し、モンテルカストを追加処方しております。ご本人様の受診希望もあり、気管支喘息のコントロールにつき貴院でお願いさせていただきたく存じます。 当院で撮影した胸部単純X線写真データ、肺機能検査、心電図、血液検査の結果を添付させていただきます。末梢血好酸球数は毎年花粉症の時期に高くなっており、直近は620/μLです。胸部単純X線写真では、右上葉に apical cap 様の陰影が自立しますが、胸部CT写真は撮影しておらず、好酸球性肺炎などの検討はできておりません。4年前に慢性副鼻腔炎のため他院で手術されておりますが、好酸球性副鼻腔炎だったかどうか、現在問い合わせ中です。 現在の処方では下記の通りです。安定されましたら、当院で引き続き診療させていただくことが可能ですので、いつでもお申し付けください。今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。
現在の処方	○○○ 1錠分1 タ △△△ 1錠分1 眼 ○○○ 1吸入1日1回 明

診療情報提供書	
紹介先医療機関	東京大学医学部附属病院眼科
〒113-8655 文京区本郷7-3-1	医療機関名・所在地
https://todaigan.a.jp/	
□緑内障 □角膜炎 □眼瞼	
□黄斑網膜 □ぶどう膜炎 □硝子体外科	
□神経 □斜視弱視 □糖尿病 □指定無し	
(該当する専門外来がございましたらチェックをお願いします)	
眼科 外来担当医	先生
*もし複数所がございましたらご記入下さい。	
フ リ ガ ナ	生年月日
患者氏名	年 月 日 (歳) 男・女
紹介目的	
病 名 (主 訴)	
既往歴	
病 状 経 過 治 療 経 過 検 査 結 果	
現在の処方	

別紙様式2 訪問看護の情報提供書	
令和 3 年 4 月 30 日	
〇〇区保健所〇〇〇〇課 殿	名称 〇〇訪問看護ステーション
	住所 東京都〇〇区〇〇1-1-1
	電話番号 03-0000-0000
	管理者氏名 〇〇 〇〇
以下の利用者に関する訪問看護の情報を提供します。	
利用者氏名 〇〇 〇〇	
性別 (男・女) 生年月日 明・大・明・平・令 55年 11月 11日生 (41歳) 職業 無職	
住所 東京都〇〇区〇〇2-2-2	
電話番号 (03)1111-1111	
主治医氏名 〇〇病院 〇〇 〇〇	
住所 東京都〇〇区〇〇3-3-3	
主傷病名 アルコール依存症	
日常生活等の状況	
1 食生活、清潔、排泄、睡眠、生活リズム等について	
不安ごとがあると夜間不眠になりやすいが、飲酒に頼ることはない。概ね生活リズム安定している。	
2 服薬等の状況について	
訪問看護が内服カレンダーにセットして管理している。飲み忘れなし。	
3 作業(仕事)、対人関係等について	
ほとんど外出することはない。対人は同居の娘と訪問看護スタッフが主。	
要介護認定の状況 (該当する事項に○)	
1 2 要支援 (1 2) 要介護 (1 2 3 4 5)	
1月当たりの訪問日数(訪問看護療養費明細書の実日数を記入すること)	4 日
家族等及び主な介護者に係る情報	小学生の娘と二人暮らし。夫とは離婚。親族との付き合いはほとんどなし。日常生活は自立している。
看護の内容	心身状態の観察、不安ごとを傾聴、食事・睡眠状況の確認、服薬管理・介助 飲酒の有無を確認
必要と考えられる保健福祉サービス	訪問看護、
その他特記すべき事項	ゆくゆくは職に就きたい希望があるが、まずは外出頻度を増やすことから始めていく。娘との関係性は良好。
【記入状の注意】	
1 必要がある場合には、続報に記載して添付すること。	

No.	年 月 日 ~ 年 月 日
お薬手帳	
医療機関で受診の際は必ずお持ち下さい	
	
緊急時救急隊閲覧可	
名前	
わたしのかかりつけ薬局	
かかりつけの薬局をもちましよう	

紹介状からお薬手帳まで、Smart Eyeで医療情報の文字化&電子カルテ化ができる

```
only code(): {
  "(0010,0020)": "",
  "(0010,0010)": "患者 三郎 様",
  "(0008,0020)": "",
  "(0008,1030)": "気管支喘息のコントロール",
  "(0042,0010)": "紹介状 (診療情報提供書)",
  "(0008,0080)": "B クリニック"
}
```

```
only code(): {
  "(0010,0020)": "",
  "(0010,0010)": "",
  "(0008,0020)": "",
  "(0008,1030)": "",
  "(0042,0010)": "診療情報提供書",
  "(0008,0080)": "東京大学医学部附属病院眼科"
}
```

```
only code(): {
  "(0010,0020)": "",
  "(0010,0010)": "55年 11月 11日生",
  "(0008,0020)": "20230430",
  "(0008,1030)": "訪問看護の情報提供書",
  "(0042,0010)": "訪問看護の情報提供書",
  "(0008,0080)": "〇〇区保健所〇〇〇〇課"
}
```

```
only code(): {
  "(0010,0020)": "",
  "(0010,0010)": "",
  "(0008,0020)": "",
  "(0008,1030)": "",
  "(0042,0010)": "お薬手帳",
  "(0008,0080)": ""
}
```

HscanとSmart Eyeを導入することで・・・

	AS IS	TO BE
医療データの 管理 & 共有	医療画像・カルテなどのデータが紙、CD、個別EMRに分散 患者<=>医療従事者<=>機関間データ交換の業務負担が大きい CD/DVDの紛失・破損・再診断など患者の苦勞発生	医療画像・各種データがプラットフォームで安全に共有される Web・モバイル環境で誰でも簡単に、効率よくデータ交換 CD/DVDなしで直接医療データ管理、接近性が大幅に向上
業務の効率性	CD/DVDの制作・保管に業務の負担やコスト発生 手入力やアナログ資料による長い所要時間	クラウドベースでコスト軽減 OCRおよび電子カルテ化により手入力を最小限に抑える
データの標準化	医療機関のデータフォーマットが併用される状況 政府の政策および個人情報の規制の対応に限界	DICOM・HL7など標準フォーマットに変換・管理 政策と連携し、個人情報の規制に迅速に対応可能
ESG	CD/DVDの物理メディアの使用 プラスチック・紙のごみ発生	デジタルトランスフォーメーションによる資源節約 エコフレンドリーでESG経営の実現、社会的責任強化

患者にも医療従事者にも「シームレスな医療の連続性」で応えられる環境づくり

01 スムーズなシステム連携

- レガシーシステムとの統合は不要
- 紙ベース・デジタル両方の既存患者データを活用可能

02 迅速なシステム導入

- 既存のプラットフォームやソリューション（HealthHub HIEプラットフォーム、PACS、PHR）を活用
- 追加開発は最小限

03 幅広い適用事例

- 患者自身による管理が可能
- 医療機関・医療従事者間での情報共有と連携診療を実現

04 柔軟な拡張性

- プラットフォーム中心の多様な用途への拡張が可能
- クラウドベースシステムで、最小限の導入でスケーラビリティを実現

05 幅広いユースケースへの対応

- 患者自身がデータを管理
- 医療機関・医療従事者間の情報共有と協働診療をサポート



サンプルの種類

ID	サンプル名	トータル ページ数
S1	紹介状	3
S2	おくすり手帳	4
S3-1	検体検査結果	4
S3-2	生理検査結果	7
S4	健康診断記録	18
合計		36

正確性: 約79.45%

項目	フィールド数	正確性
合計フィールド	216	
除外フィールド	70	
正確なフィールド	116	
不正確なフィールド	30	
正確性		79.45%

BEST

100%

- システム化されたデータ



WORST

最低正確度 79.45%

- 不明確な角度、薄暗い照明



実際のテスト結果

プリントサンプル

1



データ抽出の
アルゴリズム改善

2



サンプルの
追加収集

3



実際の
ユースケースの設定



実ユースケースを用いたパイロットプロジェクトの選定

要望の収集および分析



医療現場への導入のために

PHASE 1

1~2ヶ所の医療機関にて
パイロットプロジェクトを推進

検証完了



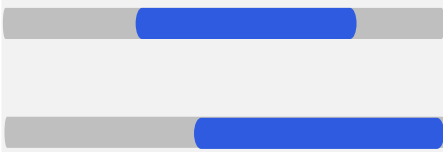
適用可能性の
確認

PHASE 2

実際の候補機関に対し
パイロット導入を提案・実施

Smart Eyeの適応可能性の確認およびAIの性能向上のため

PHASE 1

フェーズ	タスク	機関	タイムライン	詳細内容
パイロットプロジェクト	調査・データ収集	2週間		<ul style="list-style-type: none">• 実際の環境・要件の分析• NDA下での実データ収集
	AIチューニングによる精度向上	3週間		<ul style="list-style-type: none">• 収集した実データから学習データを設定• Smart Eye AIのファインチューニング
	導入・検証	4週間		<ul style="list-style-type: none">• HHプラットフォームの導入• 顧客施設へのSmart Eye設置• Smart Eyeとプラットフォームの検証• フィードバック取得・実運用への適用計画策定

PHASE 2

フェーズ	ステップ	詳細内容
ロールアウトプラン	ロールアウト計画の策定	<ul style="list-style-type: none">• 適用候補機関のリストアップと現場調査• スケジュールの設定
	プラットフォーム準備	<ul style="list-style-type: none">• プラットフォームの確認と機関アカウント設定• Smart Eyeの機関へのインストール
	トレーニング・試験運用	<ul style="list-style-type: none">• ユーザートレーニング• 試験運用による実現可能性の確認
	機能アップグレード・再設定	<ul style="list-style-type: none">• フィードバック・要件に合わせた機能アップグレード• ユーザー再トレーニング• 本番稼働スケジュール設定
	本番稼働（ローンチ）	<ul style="list-style-type: none">• ワークフローや取引のモニタリング



ご清聴ありがとうございました

HealthHub Co., Ltd.

- Web : healthhub.kr
- Email : gbd@healthhub.kr
- Address : 14F, 20, Mapo-daero, Mapo-gu, Seoul, Republic of Korea
- Tel : +82) 02-511-3601